



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

私たちの生活は、平和であり、日本だけで言えば戦争はありません。ですがこの生活は、戦争で苦勞をされた方々の努力があるからこそ存在するのだと感じました。原爆の力は強く、アメリカ軍の飛行機に乗っていた人も想像ができないほどだと思います。今回の授業を通して、やはり戦争は何の利益にもならないと感じました。ですが、過去にこんなにつらいことがあったことを知りながら、なぜロシアはウクライナに「原爆を落とす」といふのか、不思議に思います。

原爆は人の生活をおびやかすものであり、その規模は、想像をぜっするほどです。しかし、そのことを忘れてしまう人もいて、忘れれば、また同じようなあやまちをくり返すことになります。原爆の怖さを後世に伝えていき、今よりもっと平和な世界が実現されるといいと思いました。あらためて、池田義三さんのように努力をした人は、



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

7/14

原爆のことについて、これまでくわしく話を聞いたのは、今日が初めてでした。テレビのニュースや新聞だけでは知ることはできない、実際の人々の気持ちがありました。5年生の国語で学習した「たすねびと」と重なる部分がありました。原爆を落とす距離や、落とし方などを聞くと、アメリカは前々から念入りには原爆投下を試みていたんだなと思い、なぜだろうと疑問と共に、怒りや悔しさもあります。8月6日、午前8時15分、たった一発の爆弾で14万人の方が亡くなってしまい、被爆者の方含め24万人の方の夢や希望をつぶすきっかけとなり、とても恐ろしいものだ改めて深く感じ、胸が痛みました。原爆についてくわしく知ることは少ないと思うのでとても貴重な機会だと思っています。なので、今回のお話を聞いて、実際に爆心地に行った兵隊の方などの思いや、原爆にあった方たちのつらさや苦しさが分かったのですが、このことを忘れず、原爆を知らない子や、自分が大人になったとき語り継いでいき、今回聞いた話を一生、ずっと忘れないで生きていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

7/14

私が今日、原爆のことを学び、^なとのことは知っていたけれど知らないことがたくさんありました。五年生の学習のときに、広島^の原爆について学びました。そのころはよく分かっていなか^たし、その語が物語になつていたので原爆のおそろしさが分かりませんでした。でも、今日原爆先生の特別授業をしてもらって今の平和の状態では想像もつけないおそろしさということが身に染みてよく分かりました。また、そのころは戦争中だったのでこんな考えではないと思うけど、私は誰かをぎせいにして自分で自分の国のことだけを考えるのは絶対にダメだと思ふし、二度このようなことが起こらないようにしてほしいです。話を聞いているとき原爆とはどういふものなのかということがよく知りませんでした。でも、話を聞かながら資料を見つみると、原爆の球体の中心部は、100万℃であり、片側の方が7000℃ということにおどろきました。そして原爆が落ちてたときの温度は、3000℃であり、想像をするだけでゾッとするような温度でした。そして原爆の被爆者は、広島市人口35万人に対し、24万人であり、死者数は14万人と聞いて想像できないくらい多いし、そのうちの2万人は一瞬で死亡したそうです。死亡率は40%、被爆率は70%ととても高い数字だと感じました。また、5人に2人が原子爆弾によって死亡したと言っていてこのクラスを30人と考えると、12人が死亡するということになりほぼクラスの半分ということにおどろきました。た^た一つのぼくだんでこんな大きな被害にわたことをこれからも忘れず色々な人



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/4

私は、今日の特別授業がとても貴重な経験に
 なったと感じています。今までの中でも「原爆トーチ」か、
 「原爆」「広島と長崎」という言葉を聞いてきました。怖いものか
 という点もたいていの方々が言われたという点も知っていた
 けれど、今回改めてお話を聞いていると、実際の光景が目の前に
 あるような恐怖を感じました。1分にもある熱、7000℃の熱をはたて
 感じるだけでも燃えるような熱さだろうと思いました。しかも
 それだけでなく、体の全体にある水分が全て取り除かれてしまうと
 聞いて、想像するだけでもゾッとはしました。被爆された方も、
 もちろん、兵隊として活用された義三さんたちもひどく苦しむ大変な
 出来事だったのだと思います。また、17歳という若さで、兵隊として、
 人々を助けろという行動は、5年経った私でも出来ないと思います。
 義三さんのビデオを見て、震えている姿は、恐ろしさや怖さかなしみか、
 おそいかからているように感じました。それでも人々を助けたいという意思
 が頭の中に入っていることは、とてもすごいことだと思います。
 逃げたいという思いが有りながらも、兵隊の任務を尽くして
 いたこともすごいと感じました。これから、今回伝えられたことを
 忘れず、次世代に受け継いでいくと思います。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

話を聞いていて、まず「最初に思ったことが、原爆の中心地から2km以上もはなれているというのに、すごく大きなしうげき波と目もくらむような光がくるということでした。それははじめて笑ったことなのでもしもくねんをしていない一般人や子どもと一緒だったら、あの時点で火桶をしていて、歩けなくなるかもしれないと思うと、ゾッとしました。原爆では人が何万人死んでしまったとか、一部分しか情報を知らなかったのも、その次に聞いた、皮膚がやけて、全身が真赤になった人がいたということを知り、その人達は自分の体と体がぶつかる。あるいはさわるだけでもすごくいたいのだらうなと想像しました。そして、もしも自分がそのような立場になったら、苦しいのはもういやだ」と思い、自殺してしまっていたかもしれないと、原爆では爆発で死ななくても、そののち死んでしまうことがあるということに気づき、改めてこわいと感じました。後半の話では、原爆の爆心地ではどのような事がおこっていたのかを聞き、想像をこえるものだったのも、すごくおどろきました。でも、中心の方は、一瞬にして全てが消えてしまったけれど、外側は、体中がやけて苦しい思いをした人がいたというので、自分だったら、苦しくない中心の方が良いと思いました。そして、最後によしろうさんも行った、原爆ドームに、自分も行ってみたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

7/14

私は、今日の特別授業がとても貴重な経験に
なっていると感じています。今までの中でも、「原爆ドーム」や、
原爆、「広島と長崎」という言葉を聞いてきました。恐ろしいものか
という点もたゞさんの方から教わられたということも知っていた
けれど、今回改めてお話を聞いていると、実際の光景が目の前に
あるような恐ろしさを感じました。1万℃もある熱、7000℃の熱をはたて
感じるだけでも燃えるような熱さだろつと思いました。しかし、
それだけでなく、体の全体にある水分が全て取られてしまうと
聞いて、想像するだけでもゾッとしました。被爆された方も、
もちろん兵隊として活用された義三さんたちも、ひどく苦しむ大変な
出来事だったのだと思います。また、17歳という若さで、兵隊として
人々を助けるという行動は、5年経った私でも出来ないと思います。
義三さんのビデオを見て、震えている姿は、恐ろしいや怖さかなしみが
おそいかかっているのが感じました。それでも、人々を助けたいという意思
が頭の中に入っていることは、とてもすごいことだと思っています。
逃げたいという思いがありがたかりも、兵隊の任務を尽くして
いたこともすごいと感じました。これから、今回伝えられた言葉を
忘れず、次世代に受け継いでいこうと思います。

ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

私は、もともと戦争がたくさんの人々をおそったことは分かってはいたけれど、即けてあけ
たくても、即けてあげられなく苦しむ思いをしたことを聞いてよく分かりました

そして、私がよく印象に残っているのは、戦争がおきて爆弾や原爆が落とされたことによ
って原爆症などになってしまい、その時にだけでなく今でも苦しんでいる人がいるとい
うことにおおろいたし知ることでわかってきました。17才の若さで兵隊の兵士になっ
てたくさんの人々を救おうと思ったたくさんの人のためになつたことは本当にすごいこと
だと改めて思いました。「リトルボーイ」という原爆は時速300kmで飛んで重さによって
落ちていくところがおそろしいと思いました。「オコシロ」^{オコシロ}という広島県の気象の様子などで色々
なことをはかれる物があったことを初めて知りました。爆心地が5600mをほられた
上空から爆はつて、それがたくさんのところに被害をおよぼせるから、そのたった一発の
爆弾でもたくさんの人の命をうばってしまうというのを色々な話から改めて感じました。

そのおそろしさがよく分かったのは、広島市の人口が35万人いる中で被爆率は70%もあり、それ
に加え死亡率は40%もあるし放射線量は7000℃もあり太陽は6000℃だから5センチな
らば爆弾の威力に表してよく分かりました。アメリカが考えた原子爆弾投下都市の条件が
そろっていないといけないのかわかしく知りました。話を聞いていてその一つ
一つの大きなことが書いてあることで人がおそくなっていること、苦しんでいることなど色々な
ことを目のあたりにしてきた戦身のことばかりではいけないことによく分かりました。

だから、今日あったことを大人になって伝えていくことを大切にして、いけるだけ
かな、いけないと思えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

話を聞いていて、まず最初に思ったことが、原爆の中心地から2km以上もはなれているというのに、すごく大きなしうげき波と目もくらむような光がくるということでした。それははじめは、たことなのでもっとくわんをしていない一般人や子どももたたりしたら、あの時点で火傷をしていて、歩けなくなるかもしれないと思うと、ゾッとしました。原爆では、人が何万人死んでしまったとか、1部分しか情報を知らなかったのので、その次に聞いた、皮ふがやけて、全身が真赤になった人がいたということを知り、その人達は自分の体と体がいつかある。あるいはさわるだけでもすごくいたいのだらうなと想像しました。そして、もしも自分がそのような立場になったら、苦しいのはもういやだと思い、自殺してしまっていたかもしれないと、原爆では、爆発で死ななくても、そののち、死んでしまうことがあるということに気づき、改めてこわいと感じました。後半の話では、原爆の爆心地ではどのような事が起こっていたのかを聞き、想像をこえるものだったのので、すごくおどろきました。でも、中心の方は、一瞬にして全てが消えてしまったけれど、外側は、体中がやけて苦しい思いをした人がいたというので、自分だったら、苦しくない中心の方が良いと思いました。そして、最後によしろうせんも行った、原爆ドームに、自分も行ってみたいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14(水)

原爆先生は、お父さんが経験したことを、その時今の私たちに伝えおいてくれて、とてもリアルで分かりやすかったです。原爆や広島などの原爆については名前や多少のことは知っていたけれど、あまり深くは知りませんでした。原爆が落とされたら、熱線、衝撃波、放射線が起きると聞くと、とても原爆のおそろしさというものを改めて実感しました。そして広島市の人口の35万人に対して、被爆者が24万人、死者が14万人と、被爆者は70%、死者は40%だと聞くと、5人に2人の確率で亡くなってしまうのだなと思いました。爆弾「リトルボーイ」は気圧感知を「ラジオ」で受け、横にぼつと落ちて、横が200mまで大きくなり、中心が100万℃、表面2000℃、土は3000℃になると聞きました。鉄がとけ出すのは1500℃なので、ほぼ全て焼き付くされてしまうのだなと思いました。爆弾のせい、放射線を受け、原爆症になっただけで、亡くなってしまう人にお父さんの気持が伝わります。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

自分は、戦争を体験したことは、無いけれど、国語で学習したりしても戦争のつらさが伝わるのでとてもおそろしいことだ、たと改めて感じました。爆弾では、死ななくても、原爆病などで亡くなってしまうのは、助かるリスクがとても低いということなので生き残った人は、本当に奇蹟だ"と思います。世界遺産に登録されているということも、様々なたくさんの国が平和についてしっかりと向き合っていることではないかなと思いました。いさなり原子爆弾が来て、対策やにけることも何も出来ないままなので怖くて本当におどろいたと思います。私だったら、ハニックになり、何もできなくなると思いました。原子爆弾が落とされたことは知、ているけどこんなにいよくが あったのは知らなかったです。今も、戦争をしている国があるけれど昔より今の方が性能やいよくが上がっていると思うので、落とされたら、ほんのいっしんで亡くな、てしまうと考えると、心配です。今私達は、ぶつうの暮らしをしているけれど、昔、戦争があ、て人々が、努力してくれたからこそ、今があるの"で感謝した"な"と思"いました。爆弾が落とされたから、長い年月が経っているの"で戦争経験者が減、ってきている"と思う"ので、今度は、私達が受けつぎた"と思"います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

私は、原爆先生の授業を受けて、あらためて、
原爆のこわさが分かりました。戦争は国語の物語
で、3年からやっているけど、原爆の物語は、「たず
ねびと」しかやっていなかったのでもう学びが深
まりました。候補になった者でも京都があった
のも知れて、その理由のぼん地というのをおしえて
くれたのでよかったです。だめになった理由も、
具体的に話してくれたので分かりやす
かったです。義三さんが体験したことを戦争を
少ししか知らない私達に伝えてくれたからより、
戦争、原爆について詳しくなれました。
防火用水の桶の話や、元安川の話など、しょうげ
きをうける所がたくさんありました。義三さんや他の
兵隊の方や被爆者の方にしか分からない
こわさ、くるしさ、かなしさがあったんだろうな
と思いました。これからもこの活動を糸売け
ていってほしいと思いました。今日は、来て
いただきありがとうございました。
これからも、がんばってください。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

7/14

名前は裏面に記入してください

原子爆弾を投下するときに京都を外したのは、家や建物などの重要文化財が「たくさんあるから、などの良心の玉理由で外してくれたのになぜ広島長崎に落とされたのか」と思いました。原爆は地上で爆発させようと思っていながら600mの高さから落とした方が「確実に殺すため」と知りました。原爆雲が上へう気流があまり分からず、いけい成層圏まで行くのはすごいらしく、あの時にも思いました。クラスで「いたい12人死んでいけいことなるのでしても、こわい」と思いました。だから戦争は絶対にしてはいけませんよ、なのかなとも思いました。子供の時からこのようにことをしておくと大人になっても戦争いけいかならなくなると思うので、でも大事なことを、たのたのしい思いました。戦争では原爆よりも怖いものがあると思うので、そのようにしてはいけませんよ、強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

今回の原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾のりりよくと被害の大きさが分かった。

原子爆弾の表面温度は太陽の7倍で、その物体が地上から600mの所で爆破したら、衝撃波や放射線とともに人間はひとたまりもないなと思った。しかし、その原爆(リトルボーイ)は4tもある(まあ)かとてもかたそうなのになぜそのようなりりよきをばきできるのか不思議だった。また、爆破した時にまわりの鉄のおなものも消えたと思ったので、そのようなりりよくなったことを改めて実感した。

被害は大きく広島市人口の約40%が亡くなっているということが分かってとても悲しくむなしい気持ちになった。

話を聞いた時に、義三さんは救助活動(集めてりして燃やして、生きている人がいたら助けるなど)をしていて、自分がその場1立っていることが、とても不安になったと思うが、それでも頑張りを続けたのは凄いなと思った。

この経馬先生の時代の巨匠さんに語りかけてきたと思う。今日は、有難うございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/14

原爆先生の話から、こんな時代が100年よりも近くにあつたなんて、思いもしなかつた。軍の人々が、幸運に9人生きのこれたのがとてもよかつたと思う。もしも、あそこで死んでいたら、今の時代まで、話は、続いてなかつたと思う。そう思うと、私達も、お話を受け、これから、世界に広めたい。そして、100年たつても、この原子爆弾をわすれず、もう二度と痛みが人々をおそわす、世界全体が仲良くなつて、戦争をなくし、戦争といふかゝいぬをなくしたい。この土地がほしかつたり、考えがろがかつたりして、戦うのはあかしい。みんなかなとくし、たれもが悲しまない、苦しまない。このすべてをみんなが教え合わないといけなない。わるいことも人がしていたら、みんなやめていい。そういう考えはちがう。わるいことは、わるいとわかるなら、人がやつていても、その人を注意し、かたいていことをやめさせるのが正しいと思う。池田さんのお話から、たくさんの方のことを学び、考え、成長できたと思ふ。木からも、その活動をずっと続けて、世界を平和にしてほしいと思ふ。ちがひから、原爆先生の一言が、世界を平和にしていくと思ふ。なので、これからも、続けてい、てほしいです。90分以上だけのお話だけで、たくさんの方の課題が、これからのことを考えられました。もっと深く戦争についてまなび、争いをやめるかぎをさがしていきたいです。そして、みんなでたくさんの方の課題をのりき、ていこうと思ふ。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

私は今回の授業を受けて原子爆弾のおそろしさをもっとも理解しました。たぶん生き残った人は「どうして自分だけ残ったのだろうか。こうなるのだ、たら死んでしまえばよかった。そうしたら、こんないたみも感じなかったのに」と、一生心に深いきかをおいて生きていくのだと思います。人をやめてあげたいのにそうしてあげられなかったというのは、どれだけ悲しかったのが物語、していると思います。

私はこれまで原子爆弾の力をなめていました。本当は爆弾よりもちよと1111倍か強いくらいかと思っておりましたが、現実には太陽と同じくらいあつい爆弾が空中で爆破したと聞いておそろしくなりました。それをすこしかりおむたいじめのようが感かくて投下できた米軍もおかしいと思います。

自分が11.11にいたいと思う人がとっせんになくなったら悲しいし、つらいです。だから、せんそうは二度とくり返したらいけないと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

ぼくは原火暴先生の特別授業を受け、原爆が落とされたときにうでの皮が剥がれたり全身に大やけどを負って手を前に出したりする人がたくさんいたというのを知っていても悲しかったなと思いました。あと、上空で爆発したのは地面の気温が3000℃になつたり表面の温度が7000℃で太陽よりも熱いというのを知って原火暴の1つはあそろしいなと思いました。し中にあった、原火暴の音を口で表現するのはすごかったです。爆発したときの音はかといつたけれど実際はもっと大きくて、熱気流や放射線があたり、いろいろなものがある、としても苦しかったなと思いました。

このことを忘れなないように、いろんな人に伝えていってほしいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

今日、原爆先生の特別授業では、これまでに知っていたり、感じていた原爆のことが、全くくっがえるような、悲惨さや、恐ろしさを知りました。

ぼくが一番、心に残っているのが、被爆者の人たちが、手をななめ前に垂らしながら歩いていくということ。歩くときにふつうに歩くと、おまがすねて痛いという話にとってもおどろきました。

また、広島市の方の40%の方が、死んでしまったのにもおどろきました。今日の授業では、原爆の恐ろしさだけでなく、人々の様子なども教えて下さったことにより、原爆が何もないことで、たくさんの命が救われるというところがわかりました。自分のできる限り、この経験を忘れず、伝えていきたいです。今日はありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

ぼくはこの原爆先生の特別授業を受講して、原爆というものは二度と使っては行けない、どうなるの強さや、そもそも戦争はしては行けないことだ"ということが分かった。原爆はたくさんの方が被害が出たことが分かった。人が原爆が"火暴はつしたことによつて、すぐ"に炭になつてしまふ"というのほどもおそろしいことだ"と思った。あのアイシユタイシが作つた、たつた原爆を二発もつけて、なせ"一発目で"すぐ"にこう"くしなかつた日本が疑問に思つた。すぐ"にこう"くすれば、被害は広島だけにおさまらなかつたはずだ"と思つた。ぼくはこの原爆というものはもう使つたり使なれなかつたのかもしれない、そもそも原因の戦争ももう起さるのかもしれない"と思つた。これから成長してもこのことを忘れずに後世へかた"り"つな"いで"つた"いと思つた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/14

私は今日の授業を通してとてもいいことを学びました。私は回家族と原爆ドームに行ったことはあるけどそこまでのことしかわからなかったのでも「原爆ドームになるまで」のことを知れてよかったです。今日学んだことの中で特に印象に残っているのは「7000度もあつい」ということです。太陽は6000度、7177だったので「太陽よりあついのものがちかくにある」というのは考えただけでいやだなと思いました。太陽はあんなはなれていてもあついのになあと思いました。そしてもう一つは、人が「こげ」てしまっていることを聞いたことや、人が「ななめ」前に手をたうらして歩いてることなどを聞いたことです。話を聞いているときに「モワッ」とか「ジワッ」としました。そしてその人を助けようとするのもとても勇気のあることなんじゃないかなと思いました。そして、これから今日学んだことをいかして生きていきたいです。原爆のこととは今日たくさんしたので、次はほかにもどいうふうなやたらと大きな衝撃がくるのかも教えてもらいたいです。今日はありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

原爆先生の特別授業を受講して、知っていること
 よりもたくさんを知り、原子爆弾や、その他色々
 の知識が身につきました。初めて知ったことの
 1つは、原子爆弾投下都市の候補と条件です。
 何も考えずに投下するとは思ってなかったけれど、
 天候や気圧によって場所が変わるんではないかとおどろきまし
 た。あと、①②③の候補にはなかったが、新潟は
 条件に合うのか？と思いました。新潟はスキーが
 有名で、山がたくさん連なっていると思うのに、なぜ
 候補の手前まで行ったのか不思議に思いました。
 次に初めて知っておどろいたのは原爆が太陽の
 熱さを越えるということでした。太陽がスカイツリー
 より少し低いところにあつたら、それを想像するだけで
 でもこわいのに、それよりも熱いものがあつたら、2万人が
 そのいっしょに亡くなってしまうのも何となく理解できま
 した。そして最後におどろいたのは衝撃波の速さです。
 音が聞こえる方があそいときいてその速さが分かりま
 した。特別授業とは別に、教科書で読んだ大牟田
 さんの文で「世界遺産になるまで長かった」と分かりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表
7/14

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して原爆のおそろしさを痛いというほど思い知らされることになりました。僕は国語や道徳で戦争や原爆を知っていましたが、ここまで生々しくおそろしいものは初めて見ました。アメリカ軍が落としたたった一発だけの子爆弾が実際に被害にあつた人が死んでしまつた人遠くで知らせを聞いた遺族の方、その人の知り合い、テレビなどで知らされた人、軍の人々、そしてそのおそろしいせんげきを受講した私たち。その何万、何億との多くの人々の心をゆさぶり、きょうの感情を多大なほど伝えていると考えます。このように心をゆさぶつたものを恐ろしくはありませぬが、このまま世代を超え、永遠に語りつづかれ続けなければ武器な人で消し去り、平和を無限にする理想を持つ人が多く現れないか、大規模行動を起こしてくれるのではないかと



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

原爆先生の特別授業を受講して、原爆についてよく分かりました。私は、国語の授業で原爆について少しは分かっていたのですが、特別授業で当時の様子をきくとよく分かりました。約4枚の原子爆弾、横浜・新潟・京都に原子爆弾を落とす候補に、1に都市大、たしかに、いろいろな事分かりました。今の原爆ドームは当時、広島県産業奨励館として多くの入りに親しまれていたと聞いて、立派な見本目録、本の冊として印象に残りました。今は昔のころほどではないのかと信じられませんでした。あと、爆弾の威力が太陽よりも1000倍強いといふことにもびっくりしました。池田先生と、よしろうさんが資料館の入り形を見たと、よしろうさんが「きれい」と言っているのを聞いて、当時は資料館に、人形よりも、むしろおもしろい姿だったのだと分かりました。今では、たくさんの人が平和で暮らしている。広島・長崎が今とは、全く違う、炭色の世界だ、というのが信じられません。信じられない出来事のため、たかひこそ、私も池田先生から、たくさん入った話でいっぱいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

私は、ヤケドをしてしま、たら、だ、く、い、たい、から、あ、の、人、達
み、た、い、に、助、け、を、求、め、る、か、も、し、れ、な、い、け、ど、皮、ふ、が、は、が、れ、る、こ、と、を
考、え、る、と、す、ご、く、ゾ、ッ、と、し、ま、し、た。そ、し、て、私、だ、ら、死、体
を、運、ぶ、作、業、も、と、に、か、く、や、り、た、く、な、い、に、け、だ、し、た、い、と、い、う
気、持、ち、が、勝、つ、て、し、ま、つ、て、作、業、が、出、来、な、い、と、思、う、の、で、
す、ご、い、な、と、思、い、ま、し、た。

原、爆、ド、ー、ム、の、電、話、局、の、ト、イ、レ、に、行、つ、て、い、た、人、だ、け
が、生、き、残、つ、た、の、は、き、せ、き、だ、と、思、い、ま、し、た。だ、け、れ、ど、
原、爆、ド、ー、ム、の、中、に、い、た、人、達、は、骨、だ、け、し、か、残、つ、て、い、な、い、状、態、だ、
た、の、で、ト、イ、レ、の、中、に、い、た、人、は、き、ょう、ふ、で、し、か、な、い、と、思、い、
ま、し、た。

原、爆、先、生、の、話、し、方、な、ど、が、上、手、で、す、ご、く、話、に、入、り、こ、ん、で、し、ま、し、た。
と、中、で、原、爆、先、生、が、爆、た、ん、が、落、ち、た、時、の、音、を、再、現、し、て、い、る、時、は、
本、当、に、そ、の、場、に、い、る、み、た、い、で、す、ご、く、こ、わ、が、た、で、す。

今、私、達、が、生、き、て、い、る、の、は、こ、の、よ、う、な、こ、と、が
起、こ、つ、て、い、る、な、か、に、け、ま、ど、い、私、達、に、命、を、つ、な、い、で
い、つ、て、く、れ、て、い、る、か、ら、な、の、で、命、を、ま、つ、に、し、て、は
い、け、な、い、と、い、う、こ、と、命、の、尊、さ、を、改、め、て、感、じ、ま、し、た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

ぼくは池田先生からおそわったことで忘れられないのは死んでしまった数や人がいふをとかさねていったことこういうことがあったということをお忘れないうようにしたいなと思いました。

でも太陽は6千度もあるけど7千度もあるものが上から5600mの高さか上にあつたからいふかとかさねほねになつてしまつたという人がいるということもわかりました。

リトルボーイという原爆は4トンもあるものを広島に投下された。その進む速さ300kmの速さで飛んでいったことがわかつた。でもそういう速さでいくなればぼくはまったくみえないくらい速さで行くということもわかつたので忘れないうようにしようと思いました。

原子爆弾投下都市の条件はアメリカで最初に原爆をおとしたというのかわかつてびっくりしました。でも広島のおとしたのはすごい広島にすんでいた人たちがかわいそうでした。ぼくは話を聞いている時に胸がいたみました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

7/11

あらためて、原爆のおそろしさを知
 りました。熱線、しゅうげき波、ほ
 うしゃ線、原爆症の全てがおそろしく
 小さい太陽がぶつかりてくるように
 えました。だから、五年の時に習った、
 「たずねびとの被爆者のおばあさん
 さんは、とても幸運な人だと思いま
 した。ですが、おそろしさ以外にも、
 原爆の大きさや、重さ、さらには、広島に落
 ちた、原爆が「リトルボーイ」という、少しゆる
 い名前だったのので、とてもおどろき
 ました。この次におどろいたのは、原爆
 が落とされる場所です。広島と長崎に
 落ちてしま、たのは、とてもとても悲しい
 けど、小倉に落ちなかったのは、幸運で、
 当時の小倉の人は、とても、ほっとし
 たと思います。ですが、24万人中、14万人
 が亡くな、てしま、たのは、やはり悲しいので
 これ以上、原爆で亡くなる人がいなくなることを

です。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

今日の学習で学んだことは、原爆はどれほどおそろしく、どんなものなのかを学びました。自分は実際に原爆ドームを見に行きたことがあるけれど、大して興味はなかったです。でも写真に行けたら色々な感情が出てくると思います。アメリカが日本に原爆を落としたいかりや、原爆の被害にあった被害者がたくさんいて、14万人の人が死んでしまったおどろきや、悲しみ、もし自分がその場にいたらどうだったか、みたいなことを考えると思います。今日の学習で、原爆を落とす条件があつたけれど、知る前はむやみやたらに首都や人口が多い所に落としていると思つていました。けれど、直径5km、平野であること、空襲がなかった、という条件もそろつたうえで、色々な順序を経て原爆を落としていることにおどろきました。あとは、話してくれたお話の中で主役の上の存在の人は、自分が死体をカリリンで燃やす作業、死体を運ぶ作業を物語を通してやっていたので、はいたり、気持ち悪くなったりするのに、なげださずにやり切る根情がすごいなと思います。原爆のかわい戸介は、ついでに放射線、衝撃波、熱線、で始めて初めて知りました。衝撃波が音速より速いことにとまどつてきました。原爆が落ちたから、生きている人も、運が悪ければ放射線をたくさん浴びていたから、原爆症という病気にかかることを初めて知りました。原爆症は後遺症でそこから白血病など、病気にかかることがかわいなと思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

先生から話を聞いて、原爆が落とされた時の人の苦しさや兵隊の人達の大変さが分かりました。

ひらが落ちてしまった時に老の落ちてしまった人はこげている時からず、といたかったのでもひらが落ちたらこげている時の倍いたかったと思いました。

そして、それを目の前で見たよしろうさんも、助けることが出来なくてとても苦しかったと思います。

燃えている家を消火する時水がなくて、家の部分働きみんなで引、は、と消火する時はとても力がいるのでとても大変だったと思います。

死体を運んでいる時に冷たかたり、すいにおいがしたと言、ていたけれど、女の人を運んでいる時はあたたかくて、生きているという感じがして天国とじごくと言、ていたのでもそれぐらい、死体を運

んでいる時は大変だったことが分かりました。

島に行くと言われた時はとてもうれしかったと思います。

広島ではとてもかくな環境で、や、と行けるようになったとても大変だったのにたえながらがんばって



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

7/14

ぼくはバクダンが落とされた場所
 所は広島でバクダンが47もある
 ことにびっくりしました。
 広島の人々が35万人で広島爆
 着数が24万人で死者数が14万人
 たりるからとても怖いなと思
 りました。死亡率が40%が高けか
 らとびっくりしました。原子爆
 弾投下者都市の条件が直径6km超
 えで平野であるところが投下さ
 れたことについてわかりました。目撃し
 ましたところが京者であったから
 意外だなと思いました。
 原子爆弾の速度が毎秒440m
 で音速が340mだからとても
 速いなと思いました。
 鉄がとけるぐらいの熱さだ
 ったからとてもびっくり
 しました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/14

原爆先生の話を聞いて、私は広島にはくたんが落ちたのは知っていたけれど、こんなにもむごいこととは知らなかったから、いっけい経をしたなと思いました。そして、今日の特別授業を聞いて、そのよしろうさんはとてもつかたたうなと思いました。トラックへ助けを求める手も救ってやれない、そして死体を運ぶ時のおい、こんなことかできて、すこいなと思いました。もし私がよしろうさんならすくにもやめてしまうと思います。それをたえるには、そういう勇氣とかくごかいるので、広島のアームをおとされた時に、(80歳の時)「きれいすぎる」といたのは、たぶんあのころの人たちよりもきれい、または、けんはくアームがあのころよりもきれいになっている、ということではないかと思いました。そして、太陽の平面よりも熱いと聞いて、気もちわるくなりました。そして、一度と戦争が起まなよくなかったいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日原爆先生の特別授業を受けて自分は原爆についてなど興味がなかったけれど今日話を聞いて原爆はたくさんの方が亡くなったおそろしいということがよくわかりました。

自分は原爆のこわさや、はかいかなどがよくわかりこのようなことは二度とおきてはいけないと思いました。

今回の話を聞いてこれから昔にあった原爆のことを忘れずにおぼえておいて原爆を知らない人に教えると思いました。

前半の原爆先生の言いで爆発の音なども声であらわしてびっくりしました原爆はこんなものではないとわかりました。

今日は原爆についてくわしく教えてくださってありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

今回原爆先生のお話を聞いて、改めて大変なこと
だ、たんだなと思いました。実際にその光景をみた
義三さんのお話の動画をみたら、言葉に表せないくらい、
辛い思いをしたということが分かりました。今回私が
知ったことは、たくさんあります。その中でも特に
印象に残ったことは、ひ爆者の悲惨な姿です。
ふだんはあまり、原爆のことについて手をつけること
は少ないので、詳しく知っていることは、無いので、
ひ爆者の姿を見ると、心がすごく痛みます。
実際に私は体験していませんので、体験した方の
本当の気持ち？は、ちゃんと分かりません。
けれど私達は、これから、このようなことをおこさ
ないようにすることはできます。これからは今回の
ようなできごとを、わすれずにすごしていきたい
なと思いました。今回はいらしていただき、
ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を体験して、これまで知らなかつた事実を確かめることが出来た。例えば私は原爆投下の候補なかつた都市に東京があると聞いたことがあつたけれど、実際には入つていなかつたし、原爆投下都市の条件には①直径5kmを超えること②平野であること③空襲がなかつたという3つの条件が書かれていたけれど、東京は大空襲にさらされてゐるから当てはまらなかつたのかなと思つた。でも長崎は、山に囲まれた地形で、山より熱線等がふさかひ、広島よりも被害が少なかつたといわれているみたいだから②の条件に該当するのかなと思つた。他にも原爆がもつた脅威の熱線、衝撃波、放射線等の細かいことも教えてもらつて、広島に落つた「リトルボーイ」は私の言葉では表せない程きつた存在だということも改めて思つた。90分間話を聞いていて、私は広島や長崎の原爆投下に対する疑問、第二次世界大戦中の惨事を知ることが出来て、後にも戦争をしないといふ事に深く同情することが出来た。もちろん、原爆投下に対する痛み、悲しみは、実際に体験した人でなければ分らないと思うけれど、この事実をもとに、同じようなことが起きてはならないといふことをいつまで



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、もともと広島と長崎に原爆が落とされたことは、他の授業でも学習していてどのくらいきけんで大変なことだったかは、少しは知っていたけれど、実際に体験したことのある人などの話を聞くと、たくさんの人々がつらい思いをし、原爆がどれほどおそろしいことかということが、とても分かりました。

原爆の際に生き残った人も大事な人を無くしてしまったり、やけどをして大けがをした人も数多くいたと思うと、とても怖いものということが、より分かりました。

私は、原爆先生の話を聞いて、広島にある原爆ドームに実際に行ってみたいなと思いました。そして、このような出来事は二度と起きてはいけないうことだし、何年たっても絶対に忘れてはいけないうことだということも分かりました。

これからもこの出来事を忘れずに、もっとたくさんの人にこの事について知ってもらえたら良いのかなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業を受けて、実際の言話が聞けて、
こういうことがあったんだと感じました。

ぼくは、原子火暴弾というとても強烈な物だと
改めて実感しました。

義三さんが体馬喰した言話を聞くと、ぼくは悲
しくなって泣きそうになりました。つらい気持ちに
なると想像すると胸がいたんでいきました。

原火暴の言話を聞いて100万°もの温度が出るこ
とや、衝撃波などの事を知りました。

池田さんの言話を聞いて平糸口という言葉はと
ても大セキで世界で共通する言葉だとい
ことを学びました。

もっと原火暴のことを考えて、大人になったら、
小さい子などに広島のことなどを矢口らせてい
きたいです。

池田さんありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が長崎と広島に落とされたことは
 知っていたけれど、い悲慘な事態
 になってしまっていた人だなと思ひました。
 ドカーンというのもど来だけ原
 爆のい力がすごいのかがよく分
 りました。それと熱が太陽よりも
 ごいなんて初めて知りました。しか
 も2万人は一瞬でこの世から消え去
 ってしまったことがとても心に残りま
 した。今までも原爆の実験や落と
 すことは極めて残虐な行為だとい
 うことを一層強く思ひました。けれど
 ポール・テューバックという人の母の名前の飛
 行機の「エラゲン」が落とされたあつた
 がたのためおどろきました。17000人の少年と
 いうのは義三君が出会った少年のこと
 かなあと思ひました。今日話したことは本
 当に忘れたいと思ひます。原爆先生のホム
 ページも見たいです。



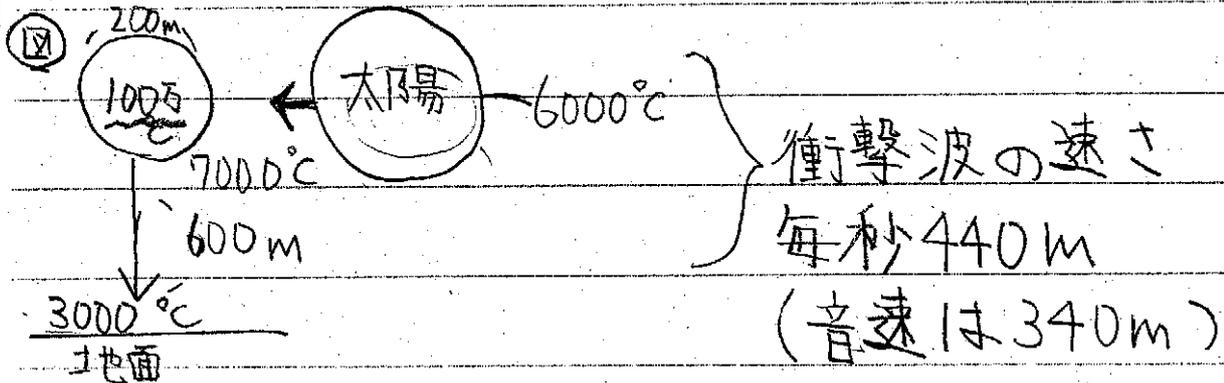
じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、原爆のことについて教えてくださり、
ありがとうございました。

先生が義三さんの言葉を読んでいるときは、実際に体験しているかのような感覚を感じました。
それと、原爆の威力について初めて知りました。
原爆の表太陽の表面温度より1000℃も高い7000℃
だという面はことです。



このようなことから、原爆(または戦争)が落とす
ようなことがあってはならないということを
改めて実感できました。

その中でも特に印象
に残ったのは、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

今日、私は原爆について学びました。
義三さんが当時17才で、すごいなと思いました。
原爆でたくさんの方が亡くなって原爆の怖さが改
めて伝わりました。まさに生か死かを争う場だった
と思います。戦争は、僕は絶対にやらないでほしい
と改めて心から思いました。今日は、義三さんい
ついて学んだけれど、兵隊の1人1人が命がけで、
皆で協力して頑張っていたのだと感じました。
私達はまだ生まれていないけれど、戦争の怖さ、お
そろしさ、そしてさんくさをこれからも伝え続けたい
ねばと思います。広島での原爆では、約40%の方が
亡くなっていて、5人に1人の割合でした。1人1人、大
切な命がある。人間だって、動物だって命はある。それな
のに、簡単に多くの命を失う事は、とても怖く、そしてお
そろしい事だと思い、戦争の怖さを学びました。そして、戦
争はいけないう事だと、心に留めて、生活をしていきたいと
思いました。今日は、大切なお時間をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日の話をしているいろいろなことは初めて知りました。まず原子爆弾をおとす条件がある。とです。うつつは原子爆弾をおとさないから条件いらないと思いました。次に知ったのは広島におとされた原爆「リトルボーイ」です。長さが3.2mもあって重さが4tでずんぐりぐりしました。それをおとすと時速300kmということもびっくりしました。それで地面から600mのところで爆発して、衝撃波はうけて、太陽よりあついのか上について、ほんと地獄の底にいるようにつらいと思います。そして、爆発すると熱線と放射線と衝撃波ができて一瞬で多くの命がうばわれて、5人に2人が死にいたることを知りました。それでも生き残った人は本当に辛いと思います。それを体験か当時の様子が分かる広島平和記念資料館があるので一回は行ってみたいなと思います。本当に今日はこれらのことや、いろいろなことを教えてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生に色々お話をしてもらって、広島で何があったのかが知る事ができました。

義三さん目線のお話で、その当時の激しさ、様子がとても分かりました。そして戦争は絶対にしてはいけないという事を改めて思いました。この広島で

おこった戦争のことはこれからも絶対に忘れてはいけないという事も分かりました。今の私たちには考えられない話ばかりで話を聞いているだけでとても

こわかったです。話にでてきたななめ前方に手を上げながら歩く人々の写真を見て、どれほど激しい戦争だったのか考えるとても恐ろしいと思いました。

今日、原爆先生(池田先生)にお話を聞いて、この戦争の事は忘れないし、きちんとルールを守ってこのようなことが二度とおこらぬように過ごしていきたいと思えます。お話をしてくださりありがとうございます。また!



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の授業受講して、色々なことを学びました。1つ目は、原子爆弾についてです。広島に投下された原爆「リトルボーイ」(小さな少年)は3.2m、4tの爆弾です。この爆弾によって広島市人口の35万人のうちの24万人が被爆者。4万人の死者が出ました。単純計算で被爆率が70%。死亡率が40%もあります。原爆は爆発する時に直径200mになり、外の周りの温度は7000℃。この温度は太陽の外の周りの温度の6000℃を上回る温度になります。中心部は100万℃になります。この原爆によって、ほぼ全ての物がとけました。原爆が爆発すると真空地帯ができ、それによって原爆雲ができません。その頂上は平らになります。原爆によって放射線が出て原爆症になる人もいます。他にも衝撃波も出ます。衝撃波の速さは毎秒440mもあります。(音速は340m/秒)ぼくはこれから、被爆者のことを考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆のおそろしさを改めて学びました。そして、温度や人数、時間などは詳しく知らなかったので新しく知るここが、出来ました。先生の熱心な授業に、どんどん前のめりになってしまいました。原爆ドームの写真を見て、今までは、自分事と思わなかったけど、自分にも、みんなにも、世界にも共通していることなんだなあと思いました。私は、最後の動画に、目頭が熱くなりました。よし三さんの「言葉をつくしても、伝わらない」というのに、すごく悲しくなりました。そして一生けん命言っている姿になんともうなずきました。今日、たくさんのお話しと貴重な体験をありがとうございました。これから、争うことのおそろしさも忘れず、今の自分の生活を大事にして、くじけず前に進んでいけるよう、がんばりたいです。あと、原爆ドームにもい、てみたいですね。そして、今日教えてもらったことを確かめたいです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

7/14

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業を受けて知ったことは、原爆
 の中心の熱さは太陽の表面と同じ熱さなことを
 知りました。そしてなにより原爆での死亡率は、40%
 で、5人に2人亡くなっている聞きしうげきでした。そして、
 万が一助かったとしても、重い病気にかかっているか
 ら、どうしてそままでいいのか、不思議に思いました。
 そして、さらに話を聞いていくと原爆を落とす候補地
 に横浜も入っていてびっくりしました。それでも、生きようと水
 の中とかに飛び込んでいたりして感動しました。
 そして、さらに舌を聞いていると、死体を焼くために背
 中に乗っていたりして、ぼくだったら絶対イヤだし、
 文句も言わずにやっていたけど、その感覚は絶対に
 忘れないからつらいと考えた。そして今日、特別授業
 を受けてこれから社会で戦争についてやるから、つらい
 場所に行きたい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受け、話に感情がこもっていて
写真が無くとも、その生々しさが伝わってくる
ように感じ、またその情景を頭で描き、身震いするよ
うな恐怖布を知った。あとで、平和記念資料館の
写真を見てみたが、これでもかなり恐ろしいのに
体験者から見ると、生々しいというよりは、されにひと
生々しいと忘れられないような感じがした。
憲法で平和主義と定められてから日本は戦争を
経験していない。日本人にとっては、復元人形はとて
恐ろしく見える。平和ボケしていて、戦争を理解でき
ないことと「死ぬ」とおめく。このままだと
戦争をしかけられた時、いかに苦しみに対処でき
ないだろうかと感じ、とてもかわいそうだなと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆を受けて死んでしまった人の気持ちや爆弾の威力を知りました。原爆先生が、近くにいた人々は一瞬にして消えてしまったと言っていて、これこそ爆弾の威力を想像することができます。私はこれを思っ、とても怖かったです。原爆を受けた人達がこれを受けていると思うと、とても悲しい気持ちになりました。また、多くの方が怖さに悩まされているということも、テレビで見たことがあって原爆はとても恐ろしい武器だということを知りました。他にも、焦げ腐った所があって、今と比べてみたらたくさんの方がありえなくなってきました。その怖さを今知りました。とても勉強になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/14

今回、この授業を受けて、戦争・原爆について理解を深めることができました。

この授業を受ける前まで、正直自分は原爆のことについて、しっかり理解ができていたと思っていました。でも、話を聞いていくにつれ、原爆を落とす候補となっていた6つの都市・原爆の熱さ・広島市の被爆率... 想像以上に知らないことがたくさんありました。中でも一番驚いたのは、実際に原爆を落とされたときの人々の様子です。やけどで全身が赤い人、皮膚がただれている人。人間とは思えないような表現がとても多く、話を聞いていて、実際にその様子を見ていない私でもぞろぞろと鳥肌がたっていました。言葉一つ一つに命が宿っているかのように、その姿がその様子が色々なものが私に伝わってきました。途中から耳をふさぎたくなったり、目を背けたくなりました。でも、この出来事は映画でもフィクションでもなくて、事実だということに、目を背けてはいけない、真実を語りつかなければいけないと私は思いました。絶対に忘れてはいけないことです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、「原爆」というた、た2文字の言葉の深い意味を知り、学
ぶことができました。

原爆先生が話してくれていた時、鳥肌や恐怖心でいっぱい
でした。そのた、た1つの爆弾でそれがたった一瞬のことで何
万人という人々か亡くな、た。そう考えただけで胸かキューと締め
付けられるようになりました。あの時、あの場所、あの時間でもし
私かいたとするなら、私はどうな、っていたのたろう。そう考えてしま
う自分かいました。

先生は、表現の上手さにそう考えさせたのたろうか。そのリアル
さに私の周りの人は、興味かあるように前のめりにな、て聞いていた。
そして、私までもいつのまにかその話に興味を持ち始めた。そこで1つ、
思い出した話かあ、た。それは、ひいおじいちゃんの話だ。ひいおじい
ちゃんは、1年前に亡くな、ている。その話とは、ひいおじいちゃんの兄か
戦争へ軍としていたことだ。記憶の限り話すと、その兄は戦争へい
き、原爆により亡くな、た、そう言、っていた。亡くな、た体は見つか、てい
ないと聞いた。この話と先生の話を重ね、た。

こういう機会は、後々ないとと思う。だから話を聞き、将来に語りつかる
ような人になりたい。私は、心の底からそう思い、願、っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、話を聞いて、広島、小倉、長崎に落とされた。原子爆弾のことをよく学びました。広島、小倉、長崎に落とされた、爆弾は、重さ4t、長さ3m、直径0.7mの大きな一発の爆弾で、上空600mに爆発し、約4kmにも広がった。ぼくは、たった一発の爆弾で大勢の人が亡くなり、町を土かき粉々にし、すごく悲しく思いました。アメリカが原子爆弾を落とす条件は、直径5kmを超える平野であること、空襲がなかったこと、落とされたと分かりました。あの爆発で、広島人口が35万人で、被爆者数は24万人もいて、死者数は、14万人で約 $\frac{1}{3}$ の人々が亡くなっていることがよく分かります。爆弾でいろんな人が苦しみ、亡くなり、すごくすごく、大変で人々の気持ちがよく分かります。池田さんに教えてもらった爆弾のこと、人々の気持ちそのたかさんのことを自分の頭に入れて、これから、原爆ドームに行き、詳しいことを調べて学んで、自分の命を大切に生きていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

受講して知れたことは、前に国語の授業で広島県と長崎県に原爆が落ちたことは知っていたけど、福岡県や、横浜、新潟県、京都府にも候補になっていたことを初めて知りました。

私はずっと、世界の国と日本が戦争をしていて、アメリカがそれを止めに入っ、日本と戦争をしたので、もともとは日本がいけないと思っていました。けれども、義三さんの話を聞いて、戦争に反対していたり、幸生で罪なき人を原爆を落としてせき人にするのはとてもしてはいけないことだと分かりました。私はこのことを忘れないように思います。そして原子爆弾の表面が太陽より熱いこと、そして、放射線を浴びて、死んでしまった人、生き残ったけれども、原爆の後いしょうで亡くなった人。とてもたくさんいることを改めて感じました。

今戦争が起きているので、日本のように原子爆弾が再び落とされないといいと思いました。

義三さんが再び原爆ドームに来た時、あまり感心しながら、話が心に残りました。

私はこれから大人になって戦争のことについて学び、伝えていかなければならないし、原爆ドームに行き、記念館に行つて写真を見たいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

8/14

名前は裏面に記入してください

今日は原爆の特別授業をして下さって、ありがとうございました。

戦争についてなどは、今まで車歪い気持ちで「爆発だ〜」とか「戦争だ〜」と言って遊んだりして、でも戦争の授業をしてから言おなくなりました。他の子などが「そういう感じの言葉を使うとつらい気持ちになります。でも、体験した人は「つらい」という表現ではなく「おそろしい。」

「わい」「苦しい」などで、車歪い気持ちではないことが分かりました。原爆の温度は太陽よりも、高い1000℃こえた温度で「熱い」とかではないと想像できました。爆心地は3~4000℃というので、もう人が立てないほどの温度だと分かりました。

私の母が小学生の時、私にとってのひいおじいちゃんが戦争を体験していて、母が質問で原爆、何？と聞きましたが、ひいおじいちゃんは答えられなかったと言っていました。このことから私は、これから未来に向け、そして今に文書して、このことを次の世代に教えたい。そして、絶対にしてはいけないのを教えたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

7/14

この日、私は原爆先生から、広島に原子爆弾が落とされたという話を聞きました。私は、原爆先生の話の中での、池田よしろうさんの体験話が印象に残りました。当時のよしろうさんの兵隊としての感情や感じたこと、その時あったことなど、さまざまなことでも胸がいたみました。また、B29が、落とす所から4km手前で落としたこと、爆発直後に、後かたもなく消えてなくなった人がいること、熱球の表面温度が太陽の表面温度より1000℃も高いこと、爆発によって真空地帯ができたことなどを知りました。私は、今日学んだことを、これからもあるであろう戦争の学習、そして大人になってからもつないでいけるよう生かしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

授業を受ける前にも何度か教わったことがあったけど、実際は被爆した人に会った人から話を聞くと教科書よりも、こちらが原爆の強弱などが深く伝わりました。

特に印象に残ったことは、体全体に大げんをあたった人が助けを求め、助けを呼ぶ場面でした。糸は無いながらも、俺の熱風がしょげき石皮でひどい状態になってしまったことが分かりました。

始めのころに流した投下したときの音がとてもよかったです。実際にその音を聞いた人はさらに心臓の止まるような思いをしたと考えました。

これから原爆を体験した人は少なくなっていくと思います。今日学んだことを忘れずに、後の世代に原爆について伝えられたら良いと思います。そして、この世で唯一の被爆国として世界にうたえなければいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分がまず思ったことは、なぜ戦争をするのかです。戦争をしなければ、原爆が落とされることもなかっ、たし、たくさん命を落とすこともなかったと思います。そして、原爆先生の話を聞いて学んだことは、核兵器のおそろしさです。池田義三さんの話を聞いてみて、爆心地の様子が、目にかんできました。ですが、こんな生ぬるいものではないと思います。きっと、爆心地付近にいた方々は、もう何が起きたのかが分からないうちに、あつという間に亡くなってしまったのだと思います。だから、この悲劇が二度と起きないように、後世に語りついでいきたいと思っています。原爆は、太陽の表面温度よりも熱くなることや、音速よりも速く衝撃波が伝わるし、しかも、環境にも多大な影響を及ぼす、本当に危険な兵器だということを、再確認しました。機会があれば、ぜひ原爆ドームにも行ってみたいと思いました。今回は、この学校に来て原爆のことを教えてください、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、原爆について話していただきありがとうございました。私は、親や祖父から戦争について聞かされていたので、広島についても本を読んで、何かあったのかは知っていました。そのときも、こわいと思っていたけれど、義三さんの体験したことや、原爆の威力を知り、改めておそろしいものだと思感しました。話を聞いただけで手がふるえました。被爆者の方々は言葉に出来ないくらい苦しかったんだろうと考えると本当に悲しくなります。けど、こわくてもこの言葉を聞いて良かったと思います。昔のおそろしい出来事を知っておくことで、私たちがもう二度と戦争をおこさないように平和をうたえ続けることが出来るし、先人たちの思いをなさいたいと思えたからです。他の国では、今も戦争をしている国もあって、私と同じぐらいの子が命を落としているかもしれない。だから、これから戦争を忘れる、今ある幸せに感謝していきたいと思います。そして、私も次の人たちに戦争で起こったこと、被害を受けた人たちの思いを語りつきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、今回の授業を受けて、広島
ひさんな状況^{じょうきょう}を想像してもおどろき、
こわかったです。

原爆^{げんばく}が原子爆弾^{げんじばくだん}の投下^{とうか}目標^{もくひょう}の呉^{くれ}浦^{うら}に東京^{とうきょう}が入^い
てい者^{もの}と思っていたので入^いっていないと聞いておどろきました。

原爆^{げんばく}のように爆^{はく}たんは、目標^{もくひょう}の真上^{まじやう}から落^お
すと思っていたけれど、遠くから落^おすといふこと
を矢^やりすぎりなと思^{おも}いました。そして、

どうして原爆^{げんばく}のことを少年^{せうねん}と呼^よび名^なを

つけ原爆^{げんばく}を落^おすための飛行機^{ひこうき}の名^なを

自分の母親^{おとこのはは}の名^な前^{まえ}を使^{つか}ったのが気がなりました。

原爆^{げんばく}が爆^{はく}発^{はつ}したとき表面^{ひょうめん}温度^{おんど}は太陽^{たいやう}よ
りも1000度も上^あ回る熱^{あつた}さだといふことに

おどろきました。

これから、広島で原爆^{げんばく}というまじろしい

ことが行^{おこ}られたことを伝え続けなければ

いけないと思^{おも}いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初は「戦争、(どんなことがあったのだろう?)」と、思っていたのですが、原爆先生の話(授業)を聞いて、

「もちろん、鉄砲や爆弾も怖いけれど、やはり、一番怖いのは原爆(核兵器)

なんだな」と思い、ソッとするような寒気が私の中を駆けめぐっているようでした。

これからは、戦争で苦しんだ人や、さらに原爆で亡くなったことが日本の歴史にあることを忘れず、

さらには、これを伝えていけるような大人になりたいと、今回の授業でやめるようになった。

これから、核兵器を持つ国を無くし、世界を平和にできるよう、少しでもそのような団体に貢献して、

世界をみんなのが、ゆくりとかもれなけれと、変えてゆきたいと思っています。

原爆はおそろしく、世界には不必要なこと、それ、

戦争はとて無意味な殺し合いだ」ということ。

をしっかりと胸に刻んでおきます。

人間の争いはなぜおこしてしまうのか? なぜ世界は平和ではいけないのか?

私にはよく分からないことも多く、スーパーヒーローのように人を救うこともできませんが、

なにも悪いことをしていない善人が、殺されなければいけないのでしょうか?

初答は、とても良くなっています。

いつか初答が出るときは、くるのがわかりませんが、私もその答えを探しています。

ですが、今日の授業でその答えに一つ近づいたような感じがしています。

今日、私はとても良くなると学ばせてもらいました。本当に有難うございました!